

一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します！ ～共に創る これからのふくろい～

発行日：令和7年2月13日
発行者：袋井市企画政策課

総合計画審議会の審議結果

第3次総合計画「基本構想」答申



(まちの将来像)

“にぎわい ずっと続くまち ふくろい”

市の諮問機関である袋井市総合計画審議会(鈴木滋彦会長)は、昨年6月に委員21名で発足。これまでに6回の会議を重ね、今後のまちづくりの方向性を示す第3次総合計画(2026～2035年度)の基本構想をとりまとめ、2月5日に大場市長に答申書を提出いただきました。

袋井の「にぎわい」継続を 市総合計画審議会 市長に答申

袋井市総合計画審議会(会長・鈴木滋彦県立農林環境専門職大学長)はこのほど、第3次市総合計画(2026～35年度)基本構想の審議結果を大場規之市長に答申した。

答申は人口減や少子高齢化をはじめとする多様な課題と向き合うため、「にぎわい」を未来へと継続するまちづくりが必要と強調。三つの基本目標として、誰

もが笑顔で自分らしく輝けるまちの実現▽住み続けたいと思える魅力あふれるまちの実現▽多彩なつながりで支え合いを実感できるまちの実現―を掲げた。

市役所を訪れた鈴木会長は「活発に議論を重ね、非常に思いの強い多様な意見が出た」と振り返り、大場市長は「審議の結果を十分に反映して計画を策定する」と述べた。

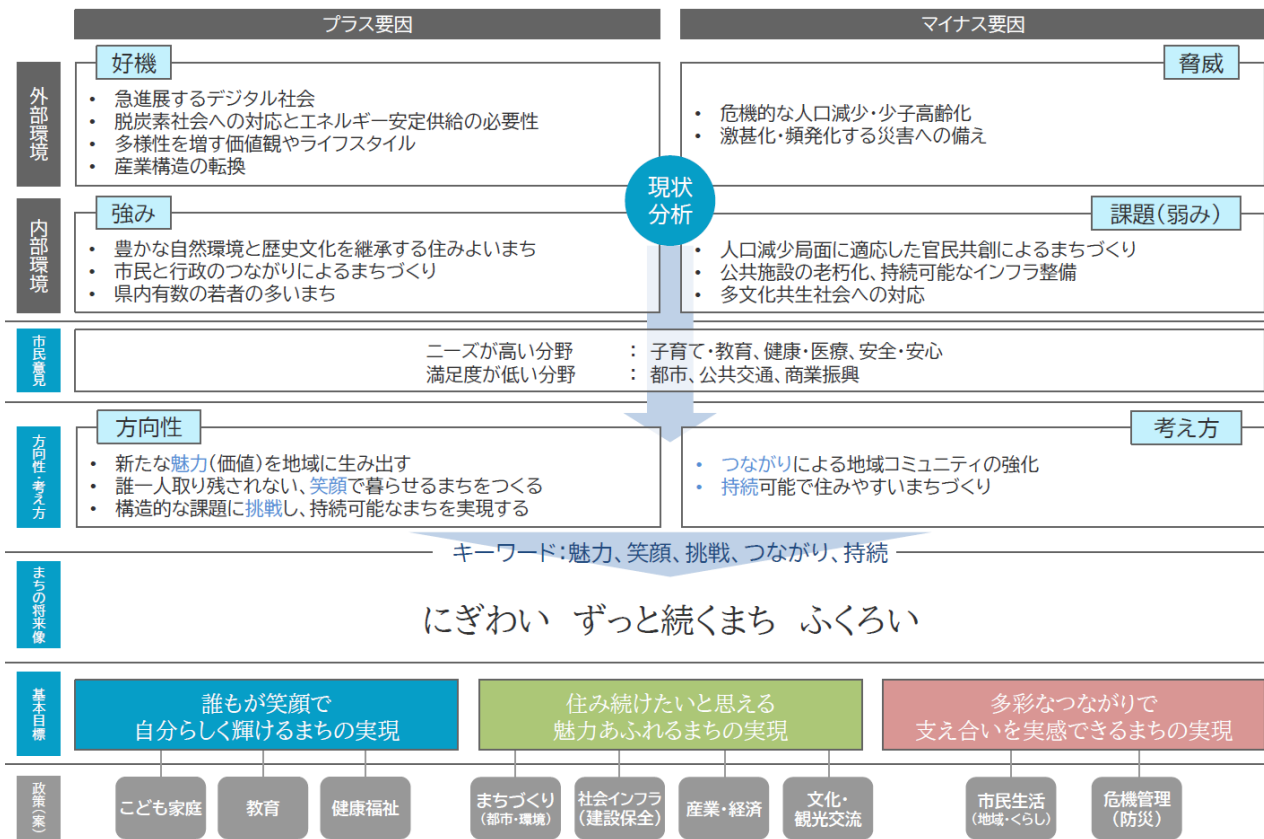
総合計画基本構想の審議結果を
答申した鈴木会長(右)ら
＝袋井市役所

2025.2.12 静岡新聞

<総合計画「基本構想」の全体像>
「まちの将来像」と「基本目標との関係性」

詳細は、裏面参照

第3次袋井市総合計画基本構想(最終案) 全体像



「まちの将来像」と「まちづくりの基本目標」の関係性

- 本市のまちづくりの普遍的理念である「日本一健康文化都市」の3つの健康観を踏まえた、「まちの将来像」と「まちづくりの基本目標」の関係性について、イメージ図で整理します。

